

# 平成 25 年度 第 3 回子ども・子育て会議 会議録

日 時 平成 26 年 3 月 27 日（金） 10 時 00 分～12 時 00 分  
場 所 二宮町町民センター 2A クラブ室  
出席者 露木委員、内城委員、山下委員、稲葉委員、熊澤委員、林委員、水島委員、  
中村委員、鈴木委員、樋口委員、本間委員、堀尾委員、正戸委員、井出委員  
(久保田委員は欠席)  
事務局 諸星子育て担当部長、松本子ども育成課長、神保子育て支援班長、  
竹内主任主事  
傍聴者 4 名

## 1. 開会

## 2. 会長あいさつ

会 長：子ども・子育てに関するアンケート調査の結果を検証して、二宮町の子育てに関わる生活実態を把握し、子育て世代の要望を捉えていきたい。

## 3. 議事

### (1) 子ども・子育てに関するアンケート調査の結果について

資料 1に基づき事務局より説明。

会 長：自由記述欄は現在集計中とのことだが、委員への報告はいつごろになりそうか。

事務局：現在項目別に集計しているため、改めて冊子の形で報告する予定。

事務局：45 ページのデータがずれている。ほかのページにもあるかもしれないため、事務局で確認してから皆さんにはお渡ししたい。

副会長：感想と意見として、今回のデータは時々の変化によって変わってくる。例えば 26 ページの再就業のデータは、税法改正によって配偶者控除がなくなった場合、より多くの方が就業希望を出してくるだろう。

委 員：62 ページの放課後の過ごし方について、自宅で過ごす方が 2 番目に多いが、どのような内容で自宅でみているのかが問題。専業主婦だから自宅でみているのか、それとも共働きだけれども自宅で過ごしているのか、中身が見えないと課題が見えてこない。

事務局：現在は一つの設問について一つの回答しか集計していないが、ご指摘のあったように就労していないから自宅なのか、就労していても自宅なのか、前の設問と関連づけて分析をかけることはできる。すべてについてこのような分析がで

きるわけではないが、必要な部分についてはできる。そしてそれらをもとに計画につなげていきたい。

委員：その回答者の状況に応じて分析をすることはできるのか。

事務局：関連性を考慮しないと傾向がつかめないものについては分析をかけることはできる。なお、報告書に詳細を掲載することはできないが、計画を策定するうえで必要なものは分析したい。

会長：集計数値はあくまでも限定されたもので、全体を見ていくことが大切だと考えている。よって詳細まで掘り下げる必要があるものかどうかを精査していくことが重要だと考える。

## (2) 二宮町子ども・子育て支援事業計画について

資料2、資料3に基づき事務局より説明。

質疑なし

## (3) その他

資料4、別添資料「平成26年度予算(案)について」に基づき事務局より説明。

委員：支援計画を策定するにあたって、小学校に通っている児童にも需要を図るためのアンケート調査をしてもらいたい。また、二宮町では今後、横浜市で実施しているような放課後子ども教室を実施する予定はあるか。

事務局：今回のアンケート調査は就学前までだが、小学生の学童保育ニーズについては学童保育に通っている方を対象に例年実施している土曜・日曜の利用希望調査に加え、「何年生まで利用したいか」という設問を追加して調査する予定。また、放課後子ども教室については、二宮では生涯学習課が「こどもゆうゆうスペース」という名称で、土曜日に開催していたが、今後平日の放課後に、毎日ではないが実施する計画がある。

## 4. 閉会